

# Library

町生涯学習センター図書室からの2月のおすすめ図書

## Library Information

### 図書室からのお知らせ

#### ■楽しい絵本展を開催

図書室では、2月22日(水)～3月6日(月)に「楽しい絵本展」を開催します。

同展では、3つのテーマにあった本80冊を展示します。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

#### ●展示テーマ

- ①災害を知り、災害に学ぶ
- ②災害に立ち向かった人々
- ③くらしをみつめる

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先  
町生涯学習センター図書室  
TEL 096-234-2447(内線331)

### 江戸の不思議な百物語に心引かれる

宮部 みゆき著 / 『三鬼三島屋変調百物語四之続』



日本経済新聞出版社  
小説

江戸の洒落者たちに人気の袋物屋・神田の三島屋は、お嬢さんのおちかが一度に1人の語り手を招き入れての変わり百物語が評判だ。訪れる語り手は、老若男女さまざまで亡者、憑き神、家の守り神、あやかしのを通してせつない話、こわい話、悲しい話を語りだす…。心の深いところを揺さぶられる三島屋シリーズ第4弾です。

### シュールなかわいさが魅力の絵本

いしい ひろし作 / 『かもめたくはいびん』



白泉社  
児童書

かもめさんたちがやっている宅配便やさんは、いつも大忙し。仕事が長続きする配達員を探すかもめの「てんちょうさん」の前に現れたのは、空を飛べないペンギンさんで…。パステルカラーの表紙のほんわかとしたイメージからは想像できないシュールな絵と「はっ」とするストーリーが、子どもだけでなくおとなも楽しめる絵本です。

### スパイたちのドラマチックストーリー

手嶋 龍一著 / 『汝の名はスパイ、裏切り者、あるいは詐欺師』



マガジンハウス  
一般書

トランプがアメリカ大統領選を制したのは、ウィキリークスで暴かれたヒラリーのメールが原因か。世界を揺るがす情報戦を繰り広げるスパイたちの、手に汗握るドラマチックなノンフィクション。世紀のスパイ「ゾルゲ」、二重スパイ「キム・フィリップ」稀代のハッカー「アサンジ」など個性豊かなキャラクターに引き込まれる1冊です。

### おいしい時短ワザが詰まったレシピ集

市瀬 悦子編 / 『ほっとくだけ! デリ風作り置き』



光文社  
教養・娯楽

材料を切って、サッと下ごしらえすれば、あとは冷蔵庫に入れるだけ、電子レンジでほっとくだけ。和風ビュッフェ、豚肉と里芋のごまみそ煮、モヤシと豆苗のナムルなどカラフルで味の変化に富んだ「デリ風」作り置きは、誰にでも簡単にできて失敗ありません。お料理初挑戦の方や忙しい主婦に、ぜひおすすめしたいレシピ集です。

#### 町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

**小** 説を読めば、その中に自分を置いて一喜一憂し、空想に浸ることが可能です。紀行文もまた然り。

司馬遼太郎の『街道をゆく』は、小説と同じようにいろいろな所に行け、「なるほど」こういう見方もあるんだと居ながらにして土地の特徴や事象を知ることができます。

20年くらい前には、毎週日曜日正午から、この『街道をゆく』がテレビ放映されていました。

#### 今月の案内人



石坂 妙さん  
(吉田区)

その記憶もいまだに私の脳裏に

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

## 私のおすすめ図書

『街道をゆく』(司馬 遼太郎著)

「湖西のみち」から25年の「街道」の旅は始まった。琵琶湖の渡来人の足跡を確かめ、信長が逃げ込んだ朽木谷を訪ねる。司馬史観が展開するシリーズ。

残っています。

今回、この本を改めて読み直してみると、著者の凄い観察力もさることながら、あそこまでその土地を深く掘り下げることの出来る洞察力や調査に頭が下がります。と同時に自分たちが物を見たり書いたりする場合、果たして彼のように完璧に人に伝えるような文章が書けるでしょうか。私には自信がありません。

現代は、軽いタッチの読み物に焦点が向きがちですが、一度は重厚な本に触れてみることをおすすめします。

そして、本の中で遊び旅をし新しい自分探しをする、という試みをするのもいいかもしれません。

## Public Hall

### 町公民館からのお知らせと話題

#### ▶ 町公民館からのご案内

#### 第20回甲佐町公民館大会

- 日時  
2月18日(土) 午前9時10分
- 場所  
町生涯学習センター・ホール
- 実践発表  
こうさんもん元気活動推進事業「歩いて発見、上早川」の発表
- 講演  
演題「窓の心や教を暮らしに生かす」  
講師・中島龍磨さん(大分県廣瀬資料館館長)  
町内公民館関係者および町民の皆さんの多くのご参加をお待ちしています。
- お問い合わせ先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-2447(内線321)

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-2447(内線321)

#### ◀ 公民館出前講座・中横田区 介護保険制度について

12月1日(木) 中横田公民館で、公民館出前講座を開催しました。

講師の町福祉課・柴田郁子係長が「介護保険制度」をテーマに講演。介護保険制度のしくみについて町で



▲講師の柴田係長から介護保険制度について学ぶ参加者たち

作成した『いつも安心みんなの介護保険』の冊子を活用し、要介護認定の申請方法や介護サービスの利用法、

本町の介護保険の給付費の推移について説明しました。

参加者からは「介護予防は、多くの方に取り組んでもらうことで介護保険給付費の抑制につながり、保険料の個人負担も軽減できるので、町も更に介護予防への取り組みに力を入れてほしい」との意見も出て、これからの介護予防についての理解を深めました。

#### ミニ門松づくり

12月20日(火)町農業研修センター「ろくじ館」で、シニアライフ講座「ミニ門松づくり」を開催し18人が参加しました。

初めに、村上浩二町公民館長が門松の由来を話した後、講師の西村彰さん(井

戸江区)、佐藤直樹さん(広瀬区)、山下佳人利さん(谷内区)、西坂和洋さん(西原区)から、門松づく

りの基本的な手順や飾り付けなど説明を受け、孟宗竹に松・竹・梅を思い思いに



▲それぞれに個性の光る門松を飾り付けした参加者

飾り付けました。

参加者たちは、完成した門松を周りの参加者の出来と見比べながら会話を楽しみ、「帰ったら早速、玄関に飾りたいです」と笑顔で話していました。

## Human Rights

### 人権 ～心豊かに暮らすために～

#### ■ 「災害と人権」①

平成28年4月14日・16日に発生した熊本地震では、県内各所で甚大な被害が発生し、避難者は多い時間で18万人を超えました(本震翌日(4/17)午前)。

災害後のニュースなどで、「災害弱者」、「災害時要援護者」などといった言葉を見たり聞いたりしたことはありませんか?この言葉は、災害時に自力での避難が通常の人より難しく、避難行動に支援を要する人々のことを指します。具体的には、妊婦、子ども、高齢者、障がい者、外

国人、病気やけがをしている人などです。これらは避難時を想定して定義されていますが、避難した後の避難所などでの生活においても、こうした方々への援護や配慮が必要となります。

#### ● 女性の人権

- ・避難所の仕切り役が男性ばかりになり、避難所の運営に女性の視点が欠ける。
- ・炊き出しや掃除は女性の担当など、避難所でも固定的性別役割分担がなされる。

#### ● 子どもの人権

- ・災害のときに怖い思いをして、落

ち着かなかったり、動揺したりしてしまう。

- ・震災によるストレスを感じている大人からの虐待の発生。

#### ● 高齢者の人権

- ・認知症の方は、環境の変化に弱く、避難所など日常とは違う環境だと落ち着かなくなったり、徘徊や興奮をしたりすることがある。
- ・長時間列に並ぶのが難しいが、炊き出しや支援物資、入浴支援などを受けるには他の方と同様に並ばなくてはならない。

～熊本県人権情報誌『コッコロ通信』vol.36より引用～